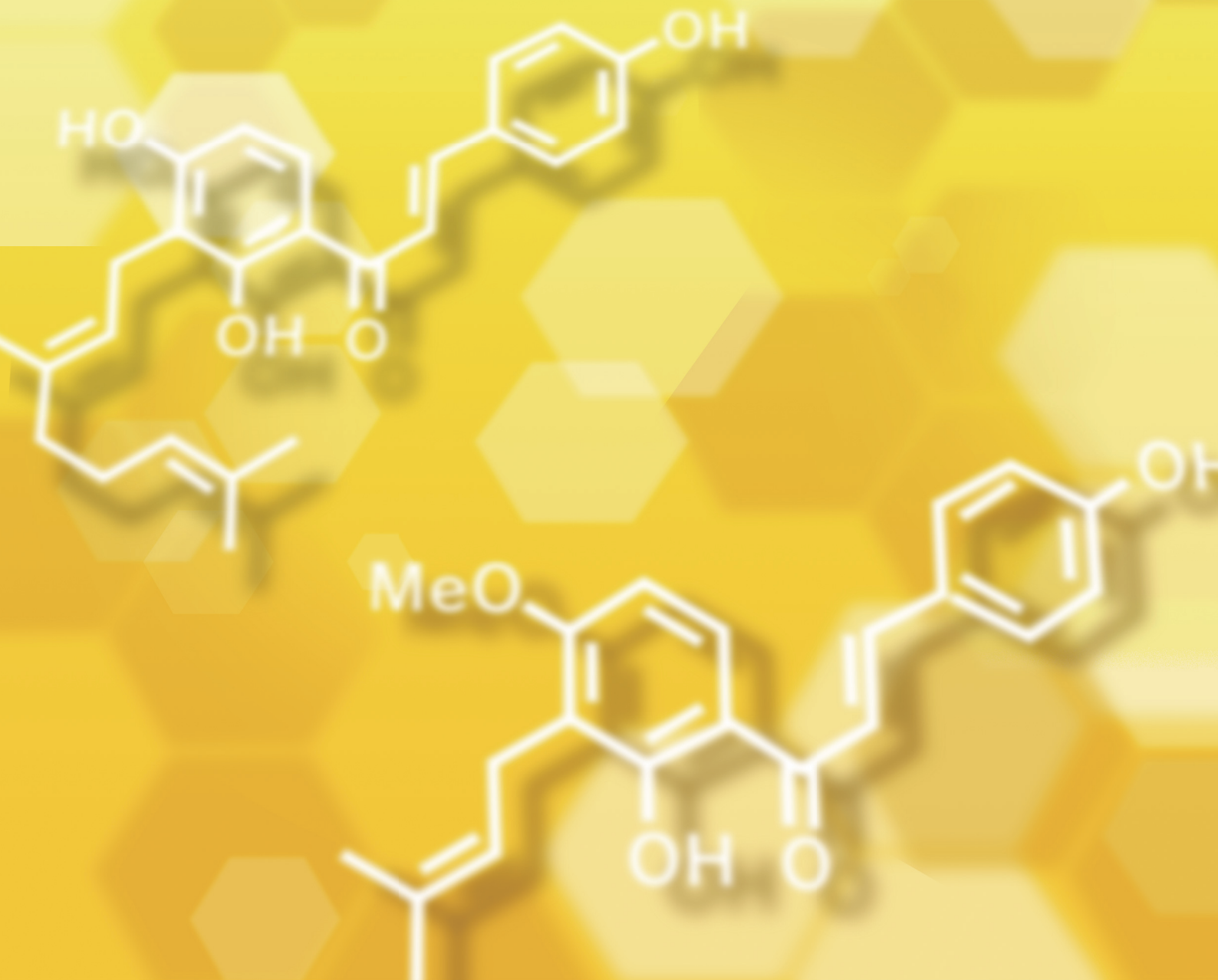


CHALSAP

あした葉ポリフェノール
カルサップ



あした葉特有の貴重な黄色いポリフェノール成分

あした葉の葉や茎を切ると切り口からネバネバした黄色い汁が出ます。この黄汁は同じセリ科の植物でも見られないあした葉だけの特徴です。あした葉ポリフェノールは、この黄汁中に高含有される成分の一種で、その主成分は10種類以上のカルコン (CHALCONE) であることが確認されています。特に、“キサントアンゲロール”と“4-ヒドロキシデリシン”の2種類が非常に多く含まれ、近年、その機能性が注目され、研究が進んでいます。



株式会社 日本生物.科学研究所

CHALSAP

あした葉ポリフェノール カルサップ

あした葉ポリフェノールの脂肪減少のメカニズム



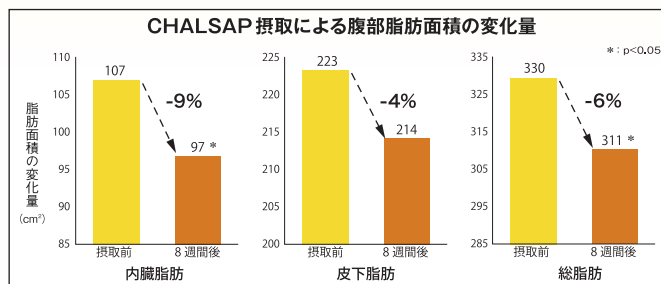
「あした葉ポリフェノール」による脂肪減少作用のメカニズムを調べるため、ラット摂食試験を行ない、肝臓中の脂質代謝関連遺伝子の働きを mRNA 発現レベルで解析しました。その結果、あした葉ポリフェノールの主要成分「4-ヒドロキシシナリジン」は脂肪蓄積を抑制させる遺伝子の発現量を高め、同じく「キシントアングロール」は脂肪燃焼を促進させる遺伝子の発現量を高めることが明らかとなりました。このことから、「あした葉ポリフェノール」の2種類の成分がそれぞれ脂肪蓄積の抑制、及び脂肪燃焼の促進に働きかけ、脂肪が減少されると考えられます。

CHALSAP の機能性 <当社研究成果>

- ピロリ菌に対する抗菌活性(特許第 3958748 号)
- 耐熱性好酸性菌(Alicyclobacillus sp.)に対する抗菌作用(特許第 4643934 号)
- 発癌イニシエーター・発癌プロモーター抑制作用
- 癌細胞に対するアポトーシス誘導作用
- 神経成長因子(NGF,BDNF,GDNF)の産生を増強
- 抗酸化作用
- ヒト試験による免疫賦活作用
- 抗メタボリックシンドローム作用
 1. アディポネクチン産生促進作用
 2. マウスにおけるレプチン産生促進作用
 3. マウスにおける内臓脂肪重量の低減作用及びそれに伴う体重増加の抑制
 4. ヒト試験による内臓脂肪断面積の減少

CHALSAP 摂取による腹部脂肪減少効果

二重盲検群比較法にてBMIが25以上30未満の軽度肥満成人男女26名を対象に臨床試験を実施しました。あした葉ポリフェノール CHALSAP-P8 200 mg/日摂取群、およびプラセボ摂取群に分け、8週間摂取後にCTスキャンにて腹部脂肪面積を測定しました。その結果、CHALSAP摂取群において腹部総脂肪面積及び内臓脂肪面積の有意な減少が認められました。



製品規格

あした葉ポリフェノール

CHALSAP-P8

明日葉の茎から採取した特有のエキス(カルコン類)をフリーズドライ加工した粉末製品。



性状	黄色を呈する粉末で特有の芳香を有する
規格	総カルコン含量：8.0%以上 水分：8%以下 一般細菌数：3,000 個 /g 以下 大腸菌群：陰性
主な用途	カプセル・錠剤・顆粒製品 他

製品特長

カルコン濃度が高く、長期保存安定性に優れる

原材料名への表示例

明日葉エキス末 (マルトデキストリン、明日葉エキス末)
食品添加物区分 → 環状オリゴ糖

保存方法及び賞味期限

直射日光・吸湿を避け、冷暗所保存／製造後3年間

NSK
(納豆菌培養エキス)



BIOZYME
(植物発酵エキス)



あした葉



胡麻ミネラル



株式会社 日本生物.科学研究所

大阪本社 / 〒553-0003 大阪市福島区福島 1-4-40
TEL. 06-6451-1711 FAX. 06-6451-1712

東京支社 / 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-9-8
TEL. 03-6285-0081 FAX. 03-6285-0082

URL www.jbsl-net.com E-mail kaihatu@jbsl-net.com



CHALSAP以外にも上記素材を取り扱っております。
お気軽にお問い合わせ下さい。